

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |               |    |             |
|----------------|---------------|----|-------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービスひかり |    |             |
| ○保護者評価実施期間     | R7年11月25日     |    | ～ R7年12月26日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 41 | (回答者数) 29   |
| ○従業者評価実施期間     | R7年12月1日      |    | ～ R7年12月26日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 6  | (回答者数) 6    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年2月26日     |    |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                  | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                     | さらに充実を図るための取組等                                 |
|---|---|---|--|
| 1 | 日々の活動を計画的に行い、一人ひとりに合わせた目標設定のもと、子どもたちが楽しみながら新しいことに挑戦できるよう支援している。             | 子どもの得意な面や長所を見つけて声をかけることで、活動に意欲的に取り組み、自己肯定感を高められるよう工夫している。 | 研修会などで発達段階に応じた支援の知識を学び、その学びを日常生活や活動に反映させていく。   |
| 2 | 専門性を持つ多職種が在籍していることで、子どもの特性を多角的に把握し、一人ひとりに合わせた支援を行うとともに、保護者の要望に応じた訓練にも対応できる。 | 必要に応じて専門職が発達検査を行い、その結果を職員間で共有することで、統一した支援を行えるようにしている。     | 定期的カンファレンスを行い、職員間で支援の一貫性を保っている。                |
| 3 | 学童施設と併設されている環境を活かし、年間を通して少人数での交流や季節ごとのイベント交流を行っている。                         | インクルージョン教育を目指し、行事や日常の活動を通じて積極的に交流を図っている。                  | 学童保育と放課後等デイサービスの子どもたちが、活動計画を自主的に立てながら交流を図っていく。 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                             | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 保護者間で交流や意見交換を行う場は設けられていない。                 | 保護者会等を開催していないため、保護者間で交流したり相談できる場が十分に確保されていない。 | 土曜開所日を活用し、保護者同士が意見交換できる場を設ける。                                      |
| 2 | 保護者参加型の研修会(ペアトレ等)は未実施である。                  | 現在は、法人内で実施される研修の案内にとどまっている。                   | 保護者支援の観点から相談やニーズを継続的に聴取し、サポートブック作りや先輩保護者の話を聞く機会などを取り入れた研修の実施を検討する。 |
| 3 | HPおよびSNSによる情報発信は行っていない。                    | 個人情報保護上の理由により、現在はHPやSNSによる情報発信の実施を控えている。      | 玄関掲示を活用し、行事・活動時のお子さんの様子をより頻繁に伝える。                                  |